

平成 28 年 10 月 19 日  
商 工 中 金

**製氷・貯氷施設の再整備で「港町おながわの再生」に貢献する  
女川魚市場買受人協同組合を金融面からサポート！**

商工中金は、災害や経済環境の悪化などの危機時に、政府の法定指定金融機関としてセーフティネットを発揮することで、中小企業組合等を積極的に支援しています。

商工中金（仙台支店）は、女川魚市場買受人協同組合（所在地：宮城県牡鹿郡、理事長：高橋 孝信氏）に対し、津波で全壊した製氷・貯氷施設の移転・復旧資金 1 億 6 千万円を融資しました。

女川魚市場買受人協同組合は、長年にわたり地元水産業の中心的役割を担ってきた協同組合で、共同製氷事業を主体に取り組んでいます。東日本大震災により製氷・貯氷施設が全壊しましたが、女川町の基幹産業である水産業の復興を図るため、応急的に施設を復旧し生産を再開。しかしながら、塩害の影響により設備等に不具合が生じる等、製氷事業の実施に支障を来していました。

このため、今回、同組合は、女川町内の水産関連施設に氷の安定供給を図ることを目的に、現施設を廃止して、女川魚市場の隣接地に新たな製氷・貯氷施設を整備する事業計画を策定しました（竣工：平成 29 年 3 月予定）。本事業を通じて、組合員の生産効率の改善等を図り、組合員の経営安定に貢献していく予定です。

商工中金は、女川町の復興や水産ブランドの再生に貢献する同組合の取組みを高く評価し、東日本大震災特別貸付を活用して必要資金の一部を融資しました。

商工中金は、被災地の復旧・復興に向け、総力をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組み、地域経済の発展に貢献してまいります。

**【女川魚市場買受人協同組合の概要】**

所在地	宮城県牡鹿郡女川町鷲神 223	出 資 金	15 百万円
代 表 者	高橋 孝信	組 合 員 数	50 社（平成 28 年 9 月現在）
業 種	製氷業	設 立	昭和 53 年 4 月

**【新設する製氷・貯氷施設の概要】**

所在地	宮城県牡鹿郡女川町鷲神 223	竣 工	平成 29 年 3 月予定
概 要	総投資 15 億円（うち 13 億円は女川町水産業共同利用施設復旧整備事業費補助金を利用） 施設概要： ① 角氷製氷施設 鉄骨造平屋建、延床面積 459.68 m <sup>2</sup> 、製氷能力 10 t / 日、貯氷能力 100 t (-10℃) ② プレート氷製氷施設 鉄骨造（一部、鉄筋コンクリート造）4 階建、延床面積 1,063.12 m <sup>2</sup> 、 製氷能力 20 t / 日、貯氷能力 200 t × 2 基・室		